

清流のほとり

令和7年12月1日(月)発行

園長 津田 将美 寄 松田

幸せな言葉

子どもたちが植えたサツマイモをイノシシに食べられてしまいました。畠のはじっこ的一部分だけでしたが、前日の足跡も生々しく、その晩もきっとまた食べに来るだろうと予想されました。

例年、収穫の喜びは大きなものです。サツマイモを掘り上げた感動が、そのまま焼き芋パーティーへつながり、子どもたちの幸せな表情が大人まで幸せな気分にしてくれました。

苦渋の決断で、今年はサツマイモをその日のうちに大人だけで掘ってしまうこととしました。幸い交流日だったので、寄の運転手さん、警備員さんもいてくれて、子どもたちが給食中、降園後に一気に収穫しました。

とても暑い日でしたが、子どもたちのために汗びっしょりになって収穫してくださいた運転手さん、警備員さんたちに感謝です。

少し早めに収穫してしまったので、サイズは例年より小さめでしたが、やきいもパーティーには十分な量でした。松田幼稚園の職員も子どもたちのために、寄幼稚園からつる付きのサツマイモを取り寄せたり、子どもたちと数をかぞえたり、重さを測ったりと収穫はしなくとも、夢と希望がつながるように、できることを一生懸命考え、実践してくれました。

そして、いよいよ迎えたやきいもパーティー当日、そこでは例年と変わらず、子どもたちからたくさんの「幸せな言葉」を聞くことができました。

「おいしい！！」

「あまくて、おいしい！！！」

「こんなに幸せな気持ち…♥」

「（おいもで）かんぱ～い！！」

雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにもイノシシにも負けない子どもたちの「幸せな言葉」を聞ける環境は、やっぱり大人にとっても幸せな場所だなあ…とつくづく感じました。

子どもたちは常に様々なことに前向きに取り組み、職員はその前向きさをつなぐ配慮をさり気なく翌日の環境構成に落としこみ、そこから生まれてくるやる気、元気、達成感、充実感が、子どもたちの口から次々と「幸せな言葉」を生み出してくれています。



幸せなことば



しあわせメータ

